

平成11年より使用された。  
 塩ビ本管で内径250mm以下について、通常マンホールと交互に設置されるようになったが、起点及び会合点には設置することができない。

名称

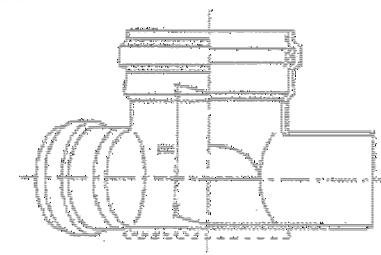
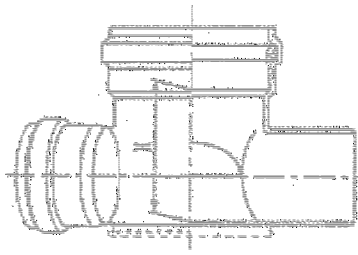
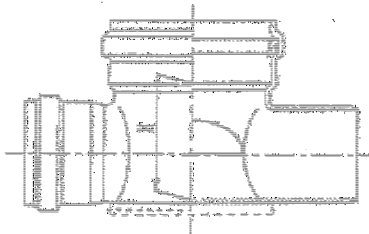
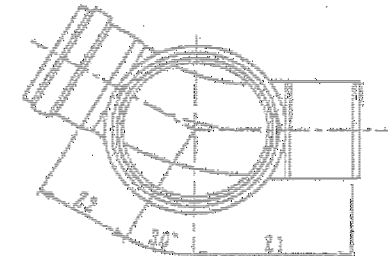
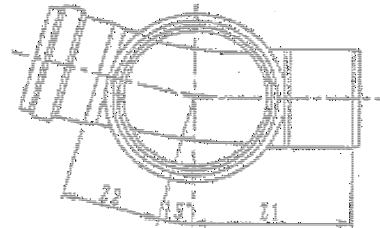
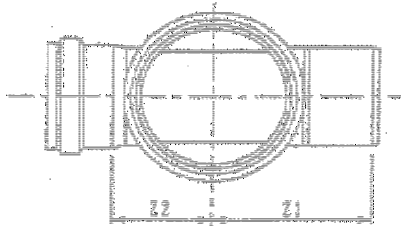
〔旧型〕塩ビ製マシンホール標準図(2)

平成11年～平成12年(インバート構造図)(硬質塩ビ管用)

ストレート [ST]

15度曲り [右・左] (15L右・15L左)

30度曲り [右・左] (30L右・30L左)



単位：mm

管径	マンホール径	Z1 (最小)	Z2 (最大)	H(最小)	
				受口形	差口形
150-300		280	180	230	360
200-300		290		255	410
250-300		350	190	310	460

単位：mm

管径	マンホール径	Z1 (最小)	Z2 (最大)	H(最小)	
				受口形	差口形
150-300		290	190	230	360
200-300			200	255	410
250-300		360	210	310	460

単位：mm

管径	マンホール径	Z1 (最小)	Z2 (最大)	H(最小)	
				受口形	差口形
150-300		290	190	230	360
200-300			200	255	410
250-300		360	210	310	460

- (1) インバート底部は、耐衝撃性樹脂
- (2) 本図は、立上り部受口形を示したものである。